

2023年5月20日

日本歯科大学校友会  
2023年度ポストグラデュエート・コースのお知らせ

日本歯科大学校友会では、本年度も恒例のポストグラデュエート・コースを企画いたしました。

近年は新型コロナ禍の影響によりオンライン開催となっていましたが、感染症法上の位置づけの移行などアフターコロナを見据えて、本年は従前からの「対面による実習」を下記の全てのコースで行います。

- A：「近位伝達麻酔法による下歯槽神経伝達麻酔－その理論とポイント－」  
(生命歯学部歯科麻酔学講座、附属病院歯科麻酔・全身管理科)
- B：「マイクロスコープ下での再根管治療」  
(生命歯学部歯科保存学講座、附属病院合診療科1)
- C：「基礎から学ぶ外科的基本手技－切開・剥離・縫合のコツ－」 (新潟病院口腔外科)

本年は3コースですが、基礎的な内容から最新の手技まで幅広い内容となっており、日常臨床にすぐに役立つことと思います。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

下記の要領および内容で行います。

- 1 受講資格：校友会会員、本学教職員、その他会員紹介者  
(ただし定員超過の場合は会員を優先)
- 2 申込方法：校友会ホームページ <http://www.koyu-ndu.gr.jp/>  
ポストグラデュエート・コース申込フォームより  
(※申込と振込が確認できた方からの先着受付となります。)
- 3 受講料：コース毎に異なりますのでご確認ください。
- 4 申込期間：※定員になり次第、締め切ります。

	開始	締切
A コース	6月15日(木) 午前10時より受付開始	7月6日(木)
B コース		8月16日(水)
C コース		受付中

- 5 受講票：開催1週間前までに詳しいご案内と受講票を郵送します。
- 6 修了証：受講終了時にお渡しします。
- 7 その他：キャンセルされる場合、受講料の返金はいたしません。ただし事前にご連絡があれば、代理人の受講を認めます(受講料に差額が生じた場合は調整いたします)。  
日本歯科医師会生涯研修事業に認定されておりますので研修ICカードをご持参ください。

- 8 問合せ先：日本歯科大学校友会学術委員会  
〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20  
Tel：03-3261-8971 / Fax：03-3264-8745  
e-mail：jimmu@koyu-ndu.gr.jp

## 近位伝達麻酔法による下歯槽神経伝達麻酔 －その理論とポイント－

【担 当】 生命歯学部歯科麻酔学講座、附属病院歯科麻酔・全身管理科

教授 砂田 勝久

【開催日時】 2023年8月3日（木）（10：00～15：00）

【開催場所】 生命歯学部講義室・臨床実習室

【受講料】 30,000円（教材費を含む）（校友会会員以外 40,000円）

【定 員】 20名

【概 要】

翼突下顎隙の前方部に局所麻酔薬を注射する近位伝達麻酔法は、神経・血管損傷の危険性がきわめて少ない下歯槽神経伝達麻酔です。近位伝達麻酔法の麻酔奏成功率は、下顎孔伝達麻酔法と同等であると報告されていますが、近年、下顎孔伝達麻酔法では得られない頬粘膜の麻酔と、智歯抜歯において96%と高い麻酔奏効率が得られる方法とその機序について報告されています。

近位伝達麻酔法は、浸潤麻酔が奏功しにくい下顎臼歯部の歯科処置、多数歯治療や長時間を要する歯科治療、歯科小手術にきわめて有効な下歯槽神経伝達麻酔法です。さらに、刺入時の痛みが少なく、比較的少量の局所麻酔薬で麻酔が得られることから、循環器疾患患者の管理にも有用です。

本コースでは、近位伝達麻酔法に必要な基礎的知識と作用機序、最新の知見を学び、実習によって、理論に基づいた近位伝達麻酔法の手技を修得していただきます。

下顎骨、口腔粘膜の形態は個人差が小さくなく、近位伝達麻酔法での刺入点、刺入方向の決定には、口腔粘膜の観察、触診が欠かせません。実習はコース参加者による相互実習とし、口腔粘膜の観察、触診を行った上で、実際に近位伝達麻酔法を行い、その効果を体感するとともに、不奏功の理由と対応についても学んでいただきます。

本コースで身につけていただく、安全で、優れた麻酔効果をもち、患者さんにやさしい近位伝達麻酔法を明日からの臨床に生かしていただきたい。

（研修単位：18）

## マイクロスコープ下での再根管治療

- 【担 当】 生命歯学部歯科保存学講座 教授 五十嵐 勝  
附属病院総合診療科1 教授 北村 和夫
- 【開催日時】 2023年8月24日（木）（10：00～16：00）
- 【開催場所】 生命歯学部臨床講義室・臨床実習室
- 【受講料】 70,000円（教材費を含む）（校友会会員以外 80,000円）
- 【定 員】 15名
- 【概 要】

歯内療法において、マイクロスコープは診療に欠かすことができないツールとなっています。感染根管治療を含む再根管治療では、細菌や汚染物質などの残存などにより初回根管治療に比べ20%程成功率が低下します。本コースはマイクロスコープ下での再根管治療にフォーカスします。

実習では、1人1台のマイクロスコープを使用し、まずマイクロスコープの基本的使用方法を習得します。透明根管模型に対し、超音波器具やNiTiロータリーファイルを使用し、ガッタパーチャを除去します。さらに根管の拡大形成と根管洗浄、マッチドテーパーシングルコーンテクニックを使用した再根管充?を習得していただきます。

講義では再根管治療と初回根管治療の違いを、症例を交え紹介いたします。このコースに参加することでマイクロスコープ下における、再根管治療時のガッタパーチャ除去の方法を習得し治療の成功率向上につながることを期待できます。

このコースではマイクロスコープの使用経験があればどなたでも申し込み可能です。また、実習に使用した器材の一部は持ち帰りが可能です。

（研修単位：22）

## ●●●Cコース●●●

基礎から学ぶ外科的基本手技  
－切開・剥離・縫合のコツ－

- 【担 当】 新潟病院口腔外科 教授 戸谷 収二  
山口 晃
- 【開催日時】 2023年9月10日（日）（9：30～12：30）
- 【開催場所】 マルチメディア臨床実習室（1号館2階）
- 【受講料】 15,000円（教材費を含む）（校友会会員以外 25,000円）
- 【定 員】 15名
- 【概 要】

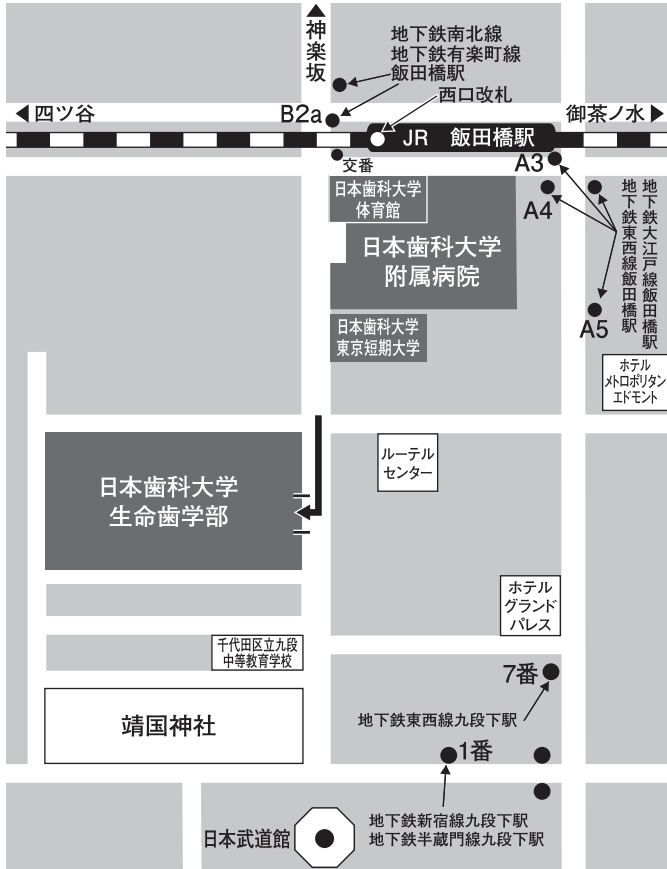
口腔内は血行が良好なため、手技を間違わなければ創傷はそれなりに治癒します。しかし、よりきれいで確実な治癒を得るためには、理論に裏付けられた外科的基本手技の習得が欠かせません。

本コースでは、切開・剥離・縫合に的を絞って、メスの使い方や剥離のポイント、縫合糸の付け方、持針器の使用法、緩まない糸結びの手技、縫合法の種類とポイント（結節縫合、各種マットレス縫合）、減張切開とマットレス縫合による確実な創閉鎖、形成外科的技法（Z形成術、V-Y形成術）などについて実習を行います。実習は縫合パッドを使用し、スライド説明、デモ、実技の順にステップ毎に十分な時間と十分なインストラクター数を配置して理論と手技を確実にマスターして頂くよう努めたいと思っております。

本コースの対象としては、卒後間もない若手の先生方や外科処置に不慣れな先生方を考えていますが、すでに歯周外科や歯科インプラント手術を行っている先生方においても基本手技の理論背景を学ぶことでブラッシュアップが図れると考えています。

（研修単位：16）

### A, Bコース (東京)



JR 総武線	「飯田橋駅」下車	西口改札出口
東京メトロ東西線	「飯田橋駅」下車	A3～A5出口
東京メトロ有楽町線	「飯田橋駅」下車	B2a出口
東京メトロ南北線	「飯田橋駅」下車	B2a出口
都営地下鉄大江戸線	「飯田橋駅」下車	A4出口
東京メトロ東西線	「九段下駅」下車	1番, 7番出口
都営地下鉄新宿線	「九段下駅」下車	1番出口
東京メトロ半蔵門線	「九段下駅」下車	1番出口

### Cコース (新潟)



JR 越後線	「関屋駅」下車	徒歩15分
上越新幹線	「新潟駅」下車	タクシー20分

MEMO

## 2023年度ポストグラデュエート・コース振込について

	申込開始	申込締切
A コース	6月15日（木） 午前10時より受付開始	7月6日（木）
B コース		7月27日（木）
C コース		8月13日（日）

- ① 各コースの締切をご確認のうえ申込ください。
- ② 申込状況は校友会 HP に掲載いたします。
- ③ 申込後、すみやかに受講料を下記振込先へご入金ください。  
入金を確認された方からの先着受付となります。  
※振込前にまだ空きがあることを必ず電話でご確認ください。
- ④ 定員になり次第、締切ります。
- ⑤ キャンセルされる場合、受講料の返金はいたしません。ただし事前にご連絡があれば代理人の受講を認めます。（受講料に差額が生じた場合は調整いたします）。  
※新型コロナウイルス感染防止等のために開催日時・会場の変更や中止の可能性があります。

### 振込先

（銀行名） 三菱 UFJ 銀行 神楽坂支店

（口座番号） （普） 0736005

（口座名） 日本歯科大学校友会 会長 近藤勝洪

Fax 申込は廃止となりました。

ホームページからのオンライン申込のみとなります。

ホームページ：<http://www.koyu-ndu.gr.jp/>